

# 乳がん地域連携クリティカルパス

板橋区保健所 山口 鶴子

## 1 平成 19 年度「乳がんの地域連携パス検討委員会」の開催経過

平成 19 年度は、乳がんの地域連携パス検討委員会を 3 回開催し、乳がんの地域連携支援パスの開発と、その試行・評価を行い、乳がんの地域支援体制（図 1）について検討した。

| 開催日時                      | 検討内容                                                                                                               |
|---------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第 1 回<br>平成 19 年 7 月 13 日 | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 昨年度の活動報告</li><li>・ 乳がんの地域連携支援パス(オーバービューパス)の進捗状況</li><li>・ 今年度の予定</li></ul> |
| 第 2 回<br>平成 19 年 9 月 13 日 | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 乳がんの地域連携支援パス(生活ガイド)案</li><li>・ 試行計画案</li></ul>                             |
| 第 3 回<br>平成 19 年 11 月 7 日 | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 乳がんの地域連携支援パス(生活ガイド・オーバービューパス)案</li><li>・ 試行に向けて</li></ul>                  |

## 2 乳がんの地域連携支援パスの開発

平成 18 年度の検討委員会では、オーバービューパス（図 2）を作成した。オーバービューパスは乳がんの予防から検診、診断、治療、手術後の回復期、在宅での経過観察期までの保健・医療・福祉サービスの全容を一目で見渡せるようになっている。平成 19 年度の検討委員会では、オーバービューパスをもとに、区民が使いやすいように 3 つの病期に分け、生活ガイド（三部構成）を作成した。

健康づくり期 乳がんを予防する生活ガイド（図 3）

回復期・リハビリ期 乳がんの手術をした方のための生活ガイド（図 4）

経過観察期 乳がんの経過観察生活ガイド（図 5）

オーバービューパス

## 3 試行・運用方法についての検討

各生活ガイドの対象者、試行方法や配布先、運用方法について以下のように検討した（表 1）。

表 1

| 乳がんの地域連携支援パス       | 対象者                         | 配布場所・方法等                                                    | 試行開始時期          |
|--------------------|-----------------------------|-------------------------------------------------------------|-----------------|
| 乳がんを予防する生活ガイド      | 一般女性区民                      | ・健康福祉センター、健康推進課、女性健康支援センター、乳がん検診医療機関<br>・検診勧奨のチラシを郵送するときに同封 | 平成 20 年 2 月     |
| 乳がんを手術した方のための生活ガイド | 専門病院退院後、かかりつけ医と連携して管理していく患者 | ・専門病院を退院時に配布<br>・医療連携クリティカルパス(乳がんの連携シート)と一緒に活用              | 医療連携クリティカルパス完成時 |
| 乳がんの経過観察生活ガイド      | 乳がん手術後数年～10年以上経過した患者        | ・患者会や支援グループに配布                                              | 平成 20 年 6 月以降   |
| オーバービューパス          | 一般女性区民                      | ・女性健康支援センターや乳がん検診医療機関や乳がん診療医療機関に掲示<br>・ホームページに掲載            |                 |

第 3 回の検討委員会で試行の合意を得られたため、平成 20 年 2 月から試行した。対象者は一般女性区民であるため、健康福祉センターや健康推進課、乳がん検診医療機関の窓口のほか、健康教育などにおいて配布した。

試行の評価については、生活ガイドの内容のわかりやすさと、有用性についてのアンケートを行った。

なお、来年度は試行の評価をもとに、生活ガイドを完成させ、平成 20 年 6 月の女性健康支援センター開設後、実際に運用していく。

これまで生活ガイドを利用する医療機関の医師の中で検討してきた。今後は医療連携クリティカルパス(乳がんの連携シート)と合わせて、試行する。

既存の患者会や支援グループ、プレストケアナース等の中で検討後、試行していく。

、 、 についてそれぞれ検討し、訂正したものを反映させて試行する。

#### 4 「乳がんを予防する生活ガイド」の試行について

##### 試行のスケジュール

12 月末まで 「乳がんを予防する生活ガイド」を印刷 ( A 3、1,000 部 )

1 月 関係機関に配布依頼

2 月 配布開始、追加印刷 ( 1,000 部 )  
アンケート ( 別紙 1・2 ) の実施

3 月 アンケート回収・集計

### 試行の評価方法

- ・ 配布枚数
- ・ アクセス件数（問い合わせ、感想など）
- ・ アンケート集計

### 試行の結果

配布期間：平成 20 年 2 月 1 日から 1 ヶ月間

配布先：

- ・ 医療機関 71 ヶ所（乳がん検診協力医療機関、がん相談支援センター）
- ・ 健康教育・窓口（5 健康福祉センターなど板橋区役所の保健師、健康教育・窓口）
- ・ 関係者
- ・ 保健師

配布枚数：1590 枚（内訳は表 2）

| 配布先     | 配布枚数 |
|---------|------|
| 医療機関    | 737  |
| 健康教育・窓口 | 686  |
| 関係者     | 117  |
| 保健師     | 50   |
| 合計      | 1590 |

### アンケート集計結果

- ・ 健康教育（141 名）；表 3
- ・ 医療機関（29 ヶ所）；表 4
- ・ 保健師（47 名）；表 5

アンケートの集計結果から、全体として内容のわかりやすく、生活ガイドは有用であるとの結果が得られた。また、感想や意見として「情報が得られてすごく助かる」「乳がん検診の意欲が高まった」「家族、友人にも見せます」「乳がんの自己検診法のリーフレットと合わせて説明することでより意識づけできた」のほか「内容が多すぎてわかりにくい」「使用目的が良く分からない」などもあった。

表3 アンケート集計結果(健康教育)

|               | 内容はわかりやすいか    |               |             |        | 役にたつか          |               |           |        |
|---------------|---------------|---------------|-------------|--------|----------------|---------------|-----------|--------|
|               | わかりやすい        | おおむねわかりやすい    | ややわかりづらい    | わかりづらい | 役にたつ           | 少しは役にたつ       | あまり役にたたない | 役にたたない |
| アンケート回収 141 名 | 80<br>(56.7%) | 60<br>(42.6%) | 1<br>(0.7%) | 0      | 116<br>(82.3%) | 25<br>(17.7%) | 0         | 0      |

**表4 アンケート集計結果(医療機関)**

|              | 内容はわかりやすいか    |               |          |             | 役にたつか         |               |           |        |
|--------------|---------------|---------------|----------|-------------|---------------|---------------|-----------|--------|
|              | わかりやすい        | おおむねわかりやすい    | ややわかりづらい | わかりづらい      | 役にたつ          | 少しは役にたつ       | あまり役にたかない | 役にたかない |
| アンケート回収 29ヶ所 | 13<br>(44.8%) | 15<br>(51.7%) | 0        | 1<br>(3.4%) | 19<br>(65.5%) | 10<br>(34.5%) | 0         | 0      |

**表5 アンケート集計結果(保健師)**

|             | 説明しやすい       | おおむね説明しやすい    | やや説明しづらい    | 説明しづらい       | 未回答          |
|-------------|--------------|---------------|-------------|--------------|--------------|
| アンケート回収 47名 | 7<br>(14.9%) | 22<br>(46.8%) | 2<br>(4.3%) | 8<br>(17.0%) | 8<br>(17.0%) |

#### 試行の考察

「乳がんを予防する生活ガイド」の試行の結果から、今後も継続して評価するためにアンケート等を定期的の実施することや、生活ガイドの本格的運用にむけてマニュアルの作成が必要と考えられた。

また、この試行を通して地域連携支援についての認識が検討委員会の委員やその関係者だけでなく、区民や乳がんの診療に携わる医療機関等にも広がり、今後の本格運用に向けて、有意義であったと考えられた。

## 5 来年度に向けて

板橋区では、平成 20 年 6 月に生涯を通じた女性の健康づくりの拠点として、女性健康支援センター（参考資料）が開設される。来年度は、この女性健康支援センターを拠点にして、乳がんの地域連携支援パスを活用していく。そして他の生活ガイドも完成させ、本格運用するとともに、「地域連携支援パス普及・推進マニュアル」を作成する。

また、他の疾病についても同様の患者支援の観点から応用できると考えられるため、まずは不妊症についての患者支援のあり方を検討する。

「乳がんを予防する生活ガイド」を配布にご協力いただきありがとうございました。  
以下の内容について、チェック (☑) 及び記入をお願いいたします。

- 1 配布した「乳がんを予防する生活ガイド」の枚数を教えてください

\_\_\_\_\_枚

- 2 内容について

- わかりやすい  
 おおむねわかりやすい  
 ややわかりづらい  
 わかりづらい

- 3 実際に役にたちそうですか

- 役にたつ  
 少しは役にたつ  
 あまり役にたたない  
 役にたたない

- 4 その他、ご意見・ご感想がありましたらご記入ください。

ご協力ありがとうございました

板橋健康福祉センター

## 「乳がんを予防する生活ガイド」 試行のお願い

乳がんの地域連携支援パスとは…

乳がんに関する保健・医療・福祉サービスを、住民にとってわかりやすく情報提供するためのツールである

このツールをつくる過程においては、医療機関をはじめとする区内関係機関との連携が必要であり、その結果、乳がんに関する地域支援体制をつくることをめざしている

「乳がんを予防する生活ガイド」とは…

オーバービューパスを住民が利用しやすいように形をかえたものが、3つの「生活ガイド」である

|                           |          |
|---------------------------|----------|
| 第1部 「乳がんを予防する生活ガイド」(別紙)   | 今回試行     |
| 第2部 「乳がんの手術をした方のための生活ガイド」 | (今後試行予定) |
| 第3部 「乳がんの経過観察生活ガイド」       | (今後試行予定) |

「乳がんを予防する生活ガイド」では、

試行目的; 実際の運用にむけて、内容等の検討のため

試行場所; 5健康福祉センター                      例えば 女性のための健康相談 健康教育 健康相談  
児童館母親教室などの場面

乳がん検診医療機関 医師会病院(マンモ検診実施)・総合判定病院など

試行方法; については実際に生活ガイドを使用した保健師へのアンケート調査(下記 **アンケート1**)  
できれば、住民からの反応をアンケート調査(下記 **アンケート2**)もっていただきたい  
については外来にて配布(別にアンケートあり)  
板健福センターへの問い合わせ数と問い合わせ内容を集計

試行期間; 平成20年2月1日～2月29日

アンケートの回収 期間終了後に回収します

試行にあたって; 生活ガイド全般についての問い合わせは、板橋健康福祉センター  
必要に応じて、乳がんパンフ、自己検診法パンフ、検診表をあわせて使用して下さい  
協力していただける事業がありましたら必要な部数を送ります。ご連絡下さい  
各健福の窓口は係長または成人担当の方にお問い合わせ下さい

今後の見通し; 試行の結果をふまえて内容・周知・活用方法など検討し、本運用していく  
残りの生活ガイドについても検討していく

ご協力よろしくお願いいいたします！

**アンケート1** 対象 保健師むけ (1事業ごとに使用した保健師が記入)

<乳がん予防に関する説明のしやすさについて>

説明しやすい    おおむね説明しやすい    やや説明しづらい    説明しづらい

<やや説明しづらいまたは 説明しづらい と感じた点はどんなところですか？>

<どの事業で使用しましたか？具体的に教えてください>

<ご意見・ご感想をぜひお聞かせください>

**アンケート2** 対象 区民むけ

<内容について>

わかりやすい    おおむねわかりやすい    ややわかりづらい    わかりづらい

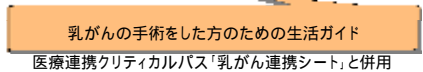
<実際に役にたちそうですか>

役にたつ                      少しは役にたつ                      あまり役にたたない    役にたたない

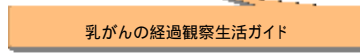
<その他 ご意見・ご感想があればご記入ください>

図2 乳がんの地域連携支援バス [区民・患者向けのオーバービューバス] ケースモデル: 乳がんの外科的手術をした方で、在宅で疾病管理をしながら、自分らしい生活を維持できるケース

| 健康の状態<br>達成目標と支援項目 | 健康づくり期-乳がんの予防と早期発見                                                                                                                                                           | 入院<br>治療期 | 回復期・リハビリ期                                                                                                                                                                                             | 経過観察期                                                                                                                          |
|--------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 患者様の定期受診(住所)       | 板橋区保健所・板橋区女性健康支援センター・各健康福祉センター                                                                                                                                               |           | 病院外来・診療所(クリニック)・薬局(保険薬局)                                                                                                                                                                              | 病院外来・診療所(クリニック)・薬局(保険薬局)                                                                                                       |
| 患者様の定期受診(日数)       | 生涯を通じて                                                                                                                                                                       |           | 病院外来:退院後6ヶ月後・1年後・1年半後・2年後<br>診療所(クリニック):3ヵ月後・1年3ヵ月後・1年5ヵ月後                                                                                                                                            | 主治医やかかりつけ医の指示による                                                                                                               |
| 達成目標               | 健康的な生活習慣で乳がんを予防し、定期的な検診で乳がんを早期発見できる<br><br>定期的に乳がん検診と自己検診をおこないましょう<br>気になる症状があったら、病院を受診しましょう<br>よい生活習慣を実践しましょう                                                               |           | 副作用による体調の変化に留意しながら<br>心身の変化と上手に付き合っていくための工夫ができる<br><br>退院した後も、しばらくは、外来での治療や診察が続くので、必ず受診しましょう<br>体調の変化を主治医やかかりつけ医に伝えましょう<br>不安や問題が生じたら、ひとりで悩まず、相談しましょう<br>これまでの生活習慣を見直してみよう                            | 乳がんにつきあいがらも、自分らしく生きることができる<br><br>体調の変化に留意しながら定期受診をしましょう<br>よい生活習慣を実践しましょう<br>不安や問題が生じたら、ひとりで悩まず、相談しましょう<br>他の病気や生活習慣病を予防しましょう |
| 検査                 | ・20代のうちから、月に1回、乳房の自己チェックを行ないましょう<br>・40才以上の方は、2年に1回、乳がん検診を受けましょう<br>マンモグラフィ・検査と医師の触診が受けられます<br>・40才以上の方は、年に1回、健康診査を受けましょう<br>お仕事をされている方は、職場健診を受けましょう<br>年齢に応じて、各種がん検診を受けましょう |           | ・外来での定期受診を受けましょう<br>・月に1回、乳房の自己チェックを行ないましょう                                                                                                                                                           | ・病院での定期受診が終了したら、区や職場で行っている乳がん検診を定期的に行きましょう<br>・区や職場で行っている健康診査や乳がん以外のがん検診を受けましょう                                                |
| 治療                 |                                                                                                                                                                              |           | ・必要がある場合は外来で化学療法を受けます<br>・お薬は継続して服用します<br>・リンパ浮腫の副作用が出た場合は、リハビリができる外来に通院します<br>・リンパマッサージやスキンケアなどのセルフケアを自宅でも行ないましょう                                                                                    |                                                                                                                                |
| 説明・連絡              |                                                                                                                                                                              |           | ・今後の治療計画について「乳がんの地域連携クリティカルパス」により、主治医から説明があります<br>・お薬についての説明(保険薬局)を受けたり、相談ができます<br>・「乳がんの手術をした方のための生活ガイド」を利用しましょう                                                                                     | ・「乳がんの経過観察生活ガイド」を利用しましょう                                                                                                       |
| 健康増進               | 乳がん予防講演会に参加して、乳がんに関する知識を身につけましょう<br>健康づくりを目的としたグループ・地域活動・イベントが行われています<br>病気の予防や生活習慣に関する健康教室や健康相談が行われています<br>乳がんの啓発運動としてピンクリボン運動が行われています                                      |           | ・乳がんについての知識を深めましょう<br>・がん予防教室、病後の方むけの教室が行われています<br>・生活習慣に関する健康教室や健康相談が行われています                                                                                                                         | ・乳がんに関する講演会や生活習慣病に関する健康教室が行われています<br>健康づくりを目的としたグループ・地域活動・イベントが行われています<br>乳がんの啓発運動としてピンクリボン運動が行われています                          |
| 運動                 | ・適度な運動を習慣的に行ない、適正体重を維持しましょう                                                                                                                                                  |           | ・無理をせず、疲れた時は休みながら、日常生活を送りましょう                                                                                                                                                                         | ・体力の回復、気分転換のために、適度な運動を習慣的に行いましょう                                                                                               |
| 嗜好品・栄養             | ・節酒と禁煙をこころがけましょう<br>・栄養バランスのよい食事を規則正しく摂りましょう<br>・適正体重を知り、日々の活動に見合った食事を摂りましょう                                                                                                 |           | ・節酒をこころがけましょう<br>・禁煙しましょう<br>・栄養バランスのよい食事を規則正しく摂りましょう<br>・適正体重を知り、日々の活動に見合った食事を摂りましょう                                                                                                                 |                                                                                                                                |
| 休養                 | ・休養により疲労を回復して、充実した余暇をすごしましょう<br>・ストレスを上手に解消しましょう                                                                                                                             |           | ・十分な休養をとって、風邪などの感染症を予防しましょう<br>・心とからだの緊張や不安をほどいてリラックスできる方法を見つめましょう                                                                                                                                    |                                                                                                                                |
| こころの安定             |                                                                                                                                                                              |           | ・気持ちの落ち込みがひどく、不眠や食欲不振などが続(場合は、こころの専門家(精神科や心療内科、カウンセリングの先生)を紹介してもらいましょう、あなたの気持ちを整理するの手伝ってくれます<br>・乳がんやがんの患者さんのために患者会があります、同じ病気をした仲間と話すことで、安心できたり、励まされたりすることがあります                                       |                                                                                                                                |
| 相談                 | ・がん専門相談が行なわれています<br>・病気や病院、生活習慣に関する相談ができます                                                                                                                                   |           | ・必要に応じてがん専門相談を利用しましょう<br>・必要に応じて、乳がん患者専用ブラジャーやかつらなどのプレスト用品を利用しましょう<br>・セカンドオピニオンや病院に関する問い合わせや相談ができます                                                                                                  |                                                                                                                                |
| 経済                 |                                                                                                                                                                              |           | ・高額療養費制度や確定申告の医療費控除を申請すると、お金の負担が軽減される場合があります<br>・生活費に困っている場合は、ご相談ください。生活保護制度や健康保険料・介護保険料・介護保険利用料の減額や免除制度があります                                                                                         |                                                                                                                                |
| 仕事<br>育児<br>家族の介護  |                                                                                                                                                                              |           | ・職場復帰に際して、職場近くの病院をお探しの場合は、遠慮なくご相談ください<br>・家事は無理をせず、休みながら行いましょう。<br>・体調が回復するまでは、まわりの方に短時間でも育児を協力してもらいましょう。保育園や保育ママさんなどに、一時的にお子さんを預ける(有料)こともいでしょう<br>・ご家族の中で高齢や障害(身体・知的・精神)のために、介護を必要とする方がいる場合は、ご相談ください |                                                                                                                                |
| 介護保険               | ・区内在住の40才以上の方は、全員が自動的に介護保険の加入者となります<br>・介護保険サービスを受けられるのは65才以上の方(第1号被保険者)です<br>40才～64才の方のうち、医療保険に加入して特定疾病に該当する方は第2号被保険者となり、サービスを利用できます                                        |           | ・がんという病気で介護保険サービスを利用するには、年齢(40才以上)や病状などの条件があります。主治医の先生と相談しましょう<br>・すでに介護保険制度に関するサービスを受けている方は、ケアマネジャーと連絡をとっておきましょう                                                                                     |                                                                                                                                |
| 家族の健康              | ・家族の方も定期的に健診・がん検診をうけましょう                                                                                                                                                     |           | ・乳がんやがんの患者さんの家族のために家族会があります                                                                                                                                                                           | ・家族の方も定期的に健診・がん検診をうけましょう                                                                                                       |

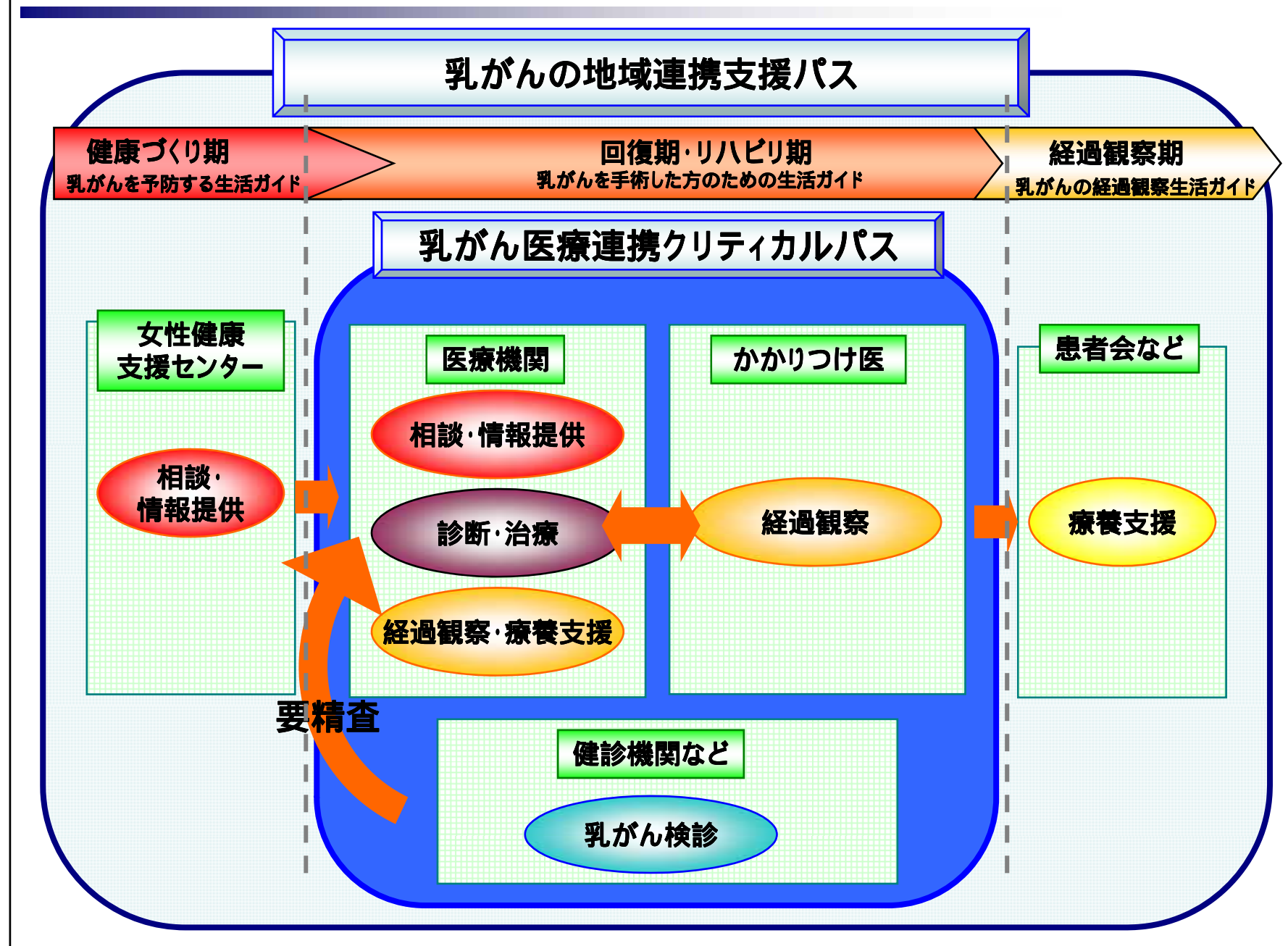


乳がんの手術をした方のための生活ガイド  
医療連携クリティカルパス「乳がん連携シート」と併用



乳がんの経過観察生活ガイド

図1 「乳がん地域連携支援体制」のイメージ





## 女性健康支援センター (6,214千円)

### 事業目的・概要

生涯を通じた女性の健康づくりを支援する為、移転改築される板橋区保健所5階に板橋区女性健康支援センターを開設・運営する。

#### 【事業内容】

##### 1 女性のための健康相談事業

###### (1) 女性健康なんでも相談

###### (2) 専門相談

- ・思春期相談 ・婦人科医による相談 ・月経・妊娠相談
- ・メンタルヘルス相談 ・尿もれ相談 ・乳がん相談

###### (3) 健康講座

不妊、がん、更年期及び女性の健康と生きがいに関する講座等を行う。

###### (4) リラクゼーション体験講座

###### (5) 自助グループ育成支援

不妊・がん・更年期などの女性の自助グループの育成と支援を行う。

###### (6) 学習支援

図書の貸し出し、ビデオ・DVD・パソコンを用いて女性の健康に関する情報提供を行う。

##### 2 女性の健康に関する情報提供

「乳がんの地域連携支援パス」を用いて、区内の医療機関等と連携しながら、保健・医療・福祉サービスの情報を収集し発信を行う。



### 対象

思春期から更年期にいたる女性

### 事業の想定される効果

ひとつの窓口で女性が思春期・妊娠出産期・更年期等人生の各ステージに対応した適切な健康の保持増進ができるようになる。男女性差のある健康・医療について、正確な知識・情報を入手できることにより、主体的に行動し、健康を享受できるようになる。女性・子育てに優しいまち推進の為の中核的機関として機能

### 事業のポイント

区内医療機関等と連携し実施する「乳がんの地域連携支援パス」は23区で初。  
区長公約「安心安全力up」「子育て力up」「医療福祉力up」に該当する事業。

【区長マニフェストより】女性の生涯を通じた健康づくりのための支援や、安心して相談できる拠点づくりを推進します。

# (参考)「乳がんの地域連携支援パス」について

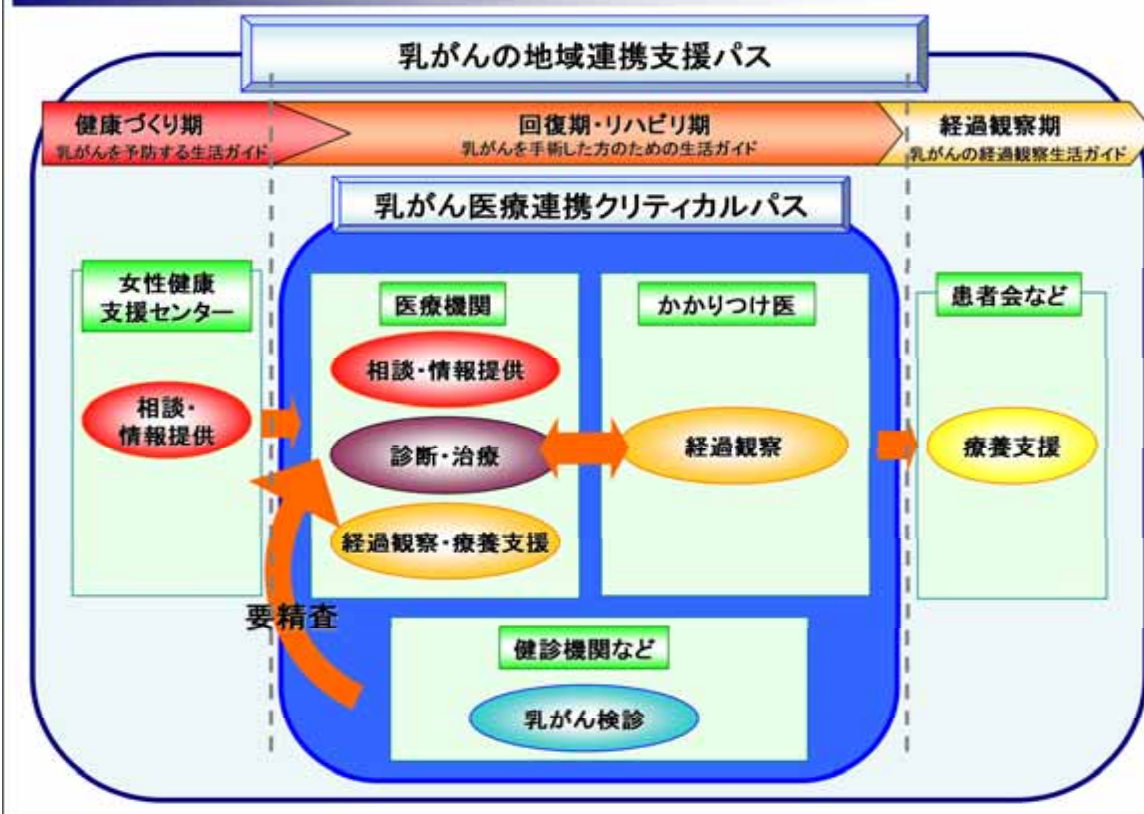
## 目的

乳がんに関して、区内の医療機関等との連携体制を構築し、患者の視点に立った切れ目の無い健康支援を提供する。

## 概要

乳がんの予防から健診、診断、治療、手術後の回復期、在宅での経過観察期までの保健・医療・福祉の情報をまとめ、また、3つの病期に分けて「生活ガイド」として情報の提供を行う。

「乳がん地域連携支援体制」のイメージ



## 事業の想定される効果

- **患者視点に立った支援体制の構築**
  - 切れ目のない健康支援の提供
  - 患者自らが選択して行動できるような情報を提供
- **病期に対応した治療目標の共有化**
  - 適時適切な医療や保健福祉サービスの提供
- **安心して療養できる環境の整備**
  - 乳がん診療の連携パスと併用し、医療以外の療養支援・健康支援の情報も一覧できるように提供
- **他の疾病の患者支援も推進**
  - 他の疾病にも同様の視点で応用できる先駆的取組

## 「東京都がん対策推進計画(平成19年12月策定)」より抜粋

【基本方針】

### まず第一に予防を重視します。

健康的な生活習慣やがん検診の意義を普及するとともに、区市町村や職域と連携し、科学的に死亡率減少効果が明らかで、精度の高いがん検診を受診できる体制整備等を進めます。

### 高度ながん医療を総合的に展開します。

がん診療連携拠点病院(板橋区内では日本大学医学部附属板橋病院、帝京大学医学部附属病院が該当)及び東京都認定がん診療病院を中心に高度ながん医療を提供するとともに、がん診療の連携体制を構築し、患者が納得できる切れ目ない医療を提供します。

### 患者の不安を軽減します。

相談支援や情報提供の充実とともに、治療の初期段階からの緩和ケアの推進など、患者の療養生活の質の向上を図ります。

## 「良質な医療を提供する体制の確立を図るための医療法等の一部を改正する法律案の概要(第5次医療法改正の概要)」より抜粋

### 医療計画制度の見直し等を通じた医療機能の分化・連携の推進

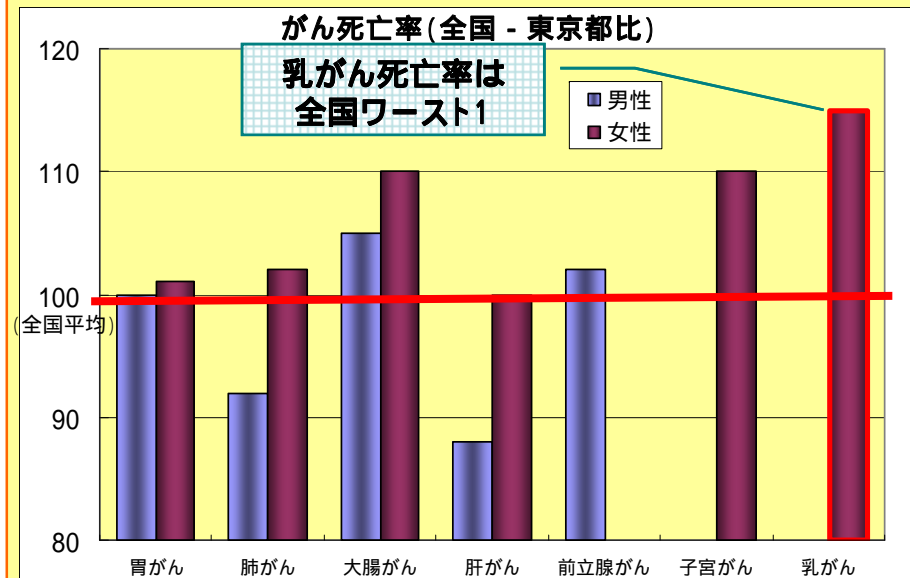
医療計画制度を見直し、地域連携クリティカルパスの普及等を通じ、医療機能の分化・連携を推進し、切れ目のない医療を提供する。早期に在宅生活へ復帰できるよう在宅医療の充実を図る。

医療計画に、脳卒中、がん、小児救急医療等事業別の具体的な医療連携体制を位置付け

医療計画に分かりやすい指標と数値目標を明示し、事後評価できる仕組みとすること(以上 医療法)

退院時調整等在宅医療の推進のための規定整備(医療法、薬剤師法)

## がん死亡率(全国 - 東京都比)



出典:東京都がん対策推進協議会資料

## 「新健康フロンティア戦略アクションプラン(平成19年12月28日策定)」より抜粋

### 2. 女性を応援する健康プログラム(女性の健康力)

女性が生涯を通じて健康で明るく、充実した日々を自立して過ごし、能力を發揮することができる社会を実現するため、生活の場(家庭、地域、職域、学校)を通じて、女性の様々な健康問題を社会全体で総合的に支援することが重要であり、そのための取組を推進する。

